

## (1) 障害者に真に求められる学習プログラム・実施体制等

### 【視点1】学校から社会への移行期に特に必要となる学習の在り方

- ・学校段階までの過程で身に付けた資質・能力を更に維持・開発するための学習の在り方
- ・多様な生活体験、職業体験等を体系的に行う中で、主体性をもって物事に取り組みやり遂げる力、コミュニケーション能力や社会性などを伸ばし、その後就業し自立した生活を送る基礎力を身に付けるための学習の在り方

### 【視点2】生涯の各ライフステージにおいて必要となる学習の在り方

- ・生涯の各ライフステージで必要となる、社会生活を自立して生きるために必要な知識やスキル等を身に付け、実生活で実践するための学習の在り方

#### <内容>

- ①プログラムの内容 ※資料5-3を参照。  
\* 障害のない者との交流・共同学習、当事者の自主的活動を含む。
- ②実施体制等
  - 多様な主体の強みを生かした効果的な実施体制の在り方
    - ・公民館、生涯学習センター等の社会教育施設
    - ・特別支援学校の同窓会組織等
    - ・大学（オープンカレッジや公開講座等）
    - ・企業、社会福祉法人、NPO法人
    - ・実行委員会・コンソーシアム等
  - ・特別支援学校等との接続・連携
  - ・生涯学習、文化、スポーツ、福祉、労働等の関係機関・団体等との効果的な連携
- 特別支援教育や障害者福祉等の専門的知見を有するコーディネーター・指導者の配置、ボランティアの参画方策等

## (2) 一般的な学習活動への障害者の参加の推進方策

- 一般的な学習活動への障害者の参加に係る促進要因・阻害要因を踏まえた効果的な対応策
- 障害者差別解消法を踏まえた「不当な差別的取扱い」や「合理的配慮」の対応（考え方、求められる体制等）

## (3) 人材の育成・確保、普及啓発

- ①人材の育成・確保
  - 指導者・コーディネーターの資質向上・確保
  - ボランティアの養成・確保
- ②普及啓発
  - ノウハウの提供・共有
  - 障害のあるなしに関わらず共に学ぶ取組の普及

☆求められる学習内容は何か  
☆どのような体制で実施すべきか

☆基盤の整備のためには何が必要か

## (4) 推進体制の整備等

- ①関係者に求められる役割
- ②必要な体制づくり
- ③必要な方策
  - 当事者のニーズの把握、相談の対応
  - 域内の取組の情報収集・提供
  - 実施体制等の整備

☆一般的な学習機会への障害者の参加を促進するためには何が必要か

○障害者に真に求められる学習機会の全国的な整備推進